

八月三日  
事務官  
昭和二十一年八月五日  
事務課

終通報用第二九〇號

受 事務官  
時間 一〇三〇

昭和二十一年八月五日  
事務課

情報 普通配布

引揚關係各省連絡事項

一 復

「樺」電による「コロ」島引揚密航者を中國側裁判の證人として再送還する件の處理に就いては外務省管理局主体となつて業務を進められたい

二 海 送

1. 八月一日に於ける引揚見送は前旬と大体同じであるが受入人數は逐次減少する豫定である、九洲地區上陸日量は大体一万乃至一万二千の間である

2. 貸與米航の返還については今週中に正式に指令が出されるらしい

現在引渡準備完了せるものは二隻で近く日本人の手で送り届ける  
ことにならう

3. 留用解備者の便船利用の件で上海の分は同港が「コレラ」指定港  
を解除せられないとその實現は困難であらう其の他の港に歸して  
は便乗認可方申込の豫定である

4. 沖繩人送還輸送配船豫定は次の通り

送出港	送出先	開始月日	使用艦艇船
鹿兒島	沖繩	八月十五日より	艦艇三隻
"	大島	八月十五日より	艦艇一隻
"	石垣島	九月五日より	LST 一隻
名古屋	沖繩	八月十五日より	LST 一隻
"	"	十月以降	LST 二隻
"	宮古島	八月二十二日	LST 一隻
"	"	十月三十日より	LST 一隻
佐世保	沖繩	八月十五日より	LST 一隻
		十月十日より	LST 三隻

艦艇一隻

ノ南西情報

A シンガポール最終船は七月三十一日出發浦賀に向つた尙殘留者  
があれば八月上旬頃配船される由

B 「ビルマ」の最終船は八月六日内地到着の豫定

C 「スマトラ」の最終船は八月中旬同地出發の豫定

D 南方殘留者は總數約十二万人で内二万人は本年中に残り十万人  
は來年四月に歸へす豫定で此の時の引揚船は英船及日本船を使  
用すると英側で云つてゐるそうである（ホゴタ丸情報）

E 南方島地輸送は從事中の船員は五日吳に上陸の筈

2 「コロ」島情報

A 「コレラ」は一時發息したが三日頃から又續發の徴があり又中  
止されるかも知れない

B 三日待機船

N X 2

M X 2

Q X 9

V X 4

C「コロ」島集結人員約四千

綿崎 六万 錦西 一万 奉天 八万

四終運五部

舞鶴再臨の件八月二日G H Qに甲込んだが其の返事は承認しないと  
の事である理由は九州に對するロードは日本が云ふ程重くない又「コ  
レラ」が出た場合は浦賀を使ふから計畫より一會少い筈である